

令和4年度事業概要報告書

(一社) 宮崎県肉用牛枝肉価格安定基金協会

(1) 事業概況

令和4年度は、第10業務年間(4~6年度)の1年目として実施した。

和牛枝肉相場については、年度当初は堅調に推移したが、新型コロナウイルスの影響による外食産業の低迷や、食料品等相次ぐ値上げによる内食需要の伸び悩みにより、夏場にかけて徐々に下落していった。夏場以降は、新型コロナウイルス新規感染者数の減少に相反して回復したが、年明けから年度末にかけて再び下落する等、年間を通して、不安定な相場となった。

県内子牛価格については、飼料価格の高騰と枝肉相場の不透明感に連動して低調であったが、飼料価格の高騰が生産コストを大きく押し上げ、肉用牛肥育農家の経営を圧迫している。

このような中、当協会としては補てん基準価格を第1四半期2, 505円/kg、第2四半期2, 707円/kg、第3四半期2, 822円/kg、第4四半期2, 687円/kgに設定し、和牛肥育農家の経営安定を目指した結果、第1四半期1, 282頭、第2四半期1, 294頭、第3四半期1, 470頭、第4四半期1, 219頭、合計5, 265頭、総額52, 650, 000円の補てん発動を行った。

①補てん準備財産

補てん準備金前期繰越高	4,230,261 円
当期通常積立金	52,630,000 円
当期補てん金	52,650,000 円
当期受入利息	27,345 円
補てん準備金残高	4,237,606 円

②普通財産

事業預け金	61,660,000 円
預り寄託金	61,660,000 円
前年度繰越金	2,150,798 円
当期受入利息	476,417 円
当期事業管理費	477,854 円
残高	2,149,361 円